

しらさぎ 24 訪問介護看護ステーション介護・医療連携推進会議内容

推進会議の開催日	平成26年 12月18 日 ( 第 2 回)			
推進会議の出席者 ( 10 ) 名	◇利用者 ( - ) 人    ◇利用者家族 ( - ) 人 ◇地域住民代表 ( 1 ) 人    ◇医師 ( - ) 人 ◇地域包括支援センター ( 2 ) 人 ◇中野区介護サービス事業所連絡会 訪問看護部会 ( 1 ) 人 介護支援専門員部会 ( 1 ) 人 ◇民生児童委員 ( 1 ) 人 ◇その他 (中野区福祉サービス事業団職員： 1 人) ◇事業所職員 ( 3 ) 人 ※桜井英一医師は都合により欠席			
期 間	平成26年10月 1日～平成26年12月15日			
利用者の状況 (平成26年12月15日現在)	利用者総数	7 人	延べ利用者数	8 人
	要介護1	2 人	要介護2	2 人
	要介護4	2 人	要介護5	0 人
	要介護3	1 人		
	・退院後のケースについて、本事業が利用者の快復意欲に有効に作用し、1か月で通常の援助に移行できた。 ・介護を中心としたケースについては、速やかにサービスを開始できた。(最短は相談日に開始したケースがある) ・ケアマネの事業への理解不足から非該当となるケースや、現体制では対応の難しい訪問看護の夜間定期利用希望など、今後サービスにつなげるための課題が伺える相談が入っている。			
(1)報告事項 ・主な質疑 ・要望、助言等	＊サービスが開始されている7ケースについて要約報告。 ＊ケアマネとして従来型から定期型に移行させるタイミングがよくわからない。 ⇒相談の結果、定期型の利用にならなくてもかまわないので、相談してほしい。 ＊軽快ケースを手放さないのではと心配するケアマネもいるが、杞憂と感じた。 ＊具体的なサービスを聞いて、イメージがはっきりしてきた。 ＊主な意見、要望 ・CMだけでなく病院のMSWへも制度を浸透させるため、今後もPRを積極的に行ってほしい。 ⇒1月に説明会を予定。 ・CM向けには、週間や月間のパターン例示や徘徊時の不在対応、キャンセル料の考え方などより具体的な資料が			

	<p>ほしい。⇒早速資料作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・深夜帯の道路氷結などで怪我をすることのないよう十分な注意を払ってほしい。</li> </ul>
(2)苦情・意見等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地区長連や地区民協を情報提供の場として積極的に活用してほしい。</li> </ul>
(3)事故	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次回報告予定</li> </ul>
次回開催予定	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成 27 年 3 月中旬開催予定</li> </ul>